山形県・酒田市病院統合再編協議の理念と基本方向(案)

平成 18 年 11 月

1　現状と課題

医療をとりまく環境

- 地方を中心とした深刻な医師不足
- 医療費の増大とその抑制
- 国、自治体の財政事情
- 自治体病院の経営状況の悪化
- 情報化の進展

医療ニーズの変化

- 人口減少社会の本格的到来と少子高齢化
- 医療ニーズの多様化
- 患者の視点の重視

【国の医療制度改革大綱】
～　安心・信頼の医療の確保と予防の重視　～

庄内の医療提供体制の現状と課題

【現　　状】

庄内二次医療圏

北 庄 内

【日本海病院】
2.5 次救急
災害医療
基幹病院

【酒田病院】
二次救急
基幹病院

病院・診療所

南 庄 内

【荘内病院】
二次救急
基幹病院

病院・診療所

【課　　題】

【日本海病院・市立酒田病院の課題】

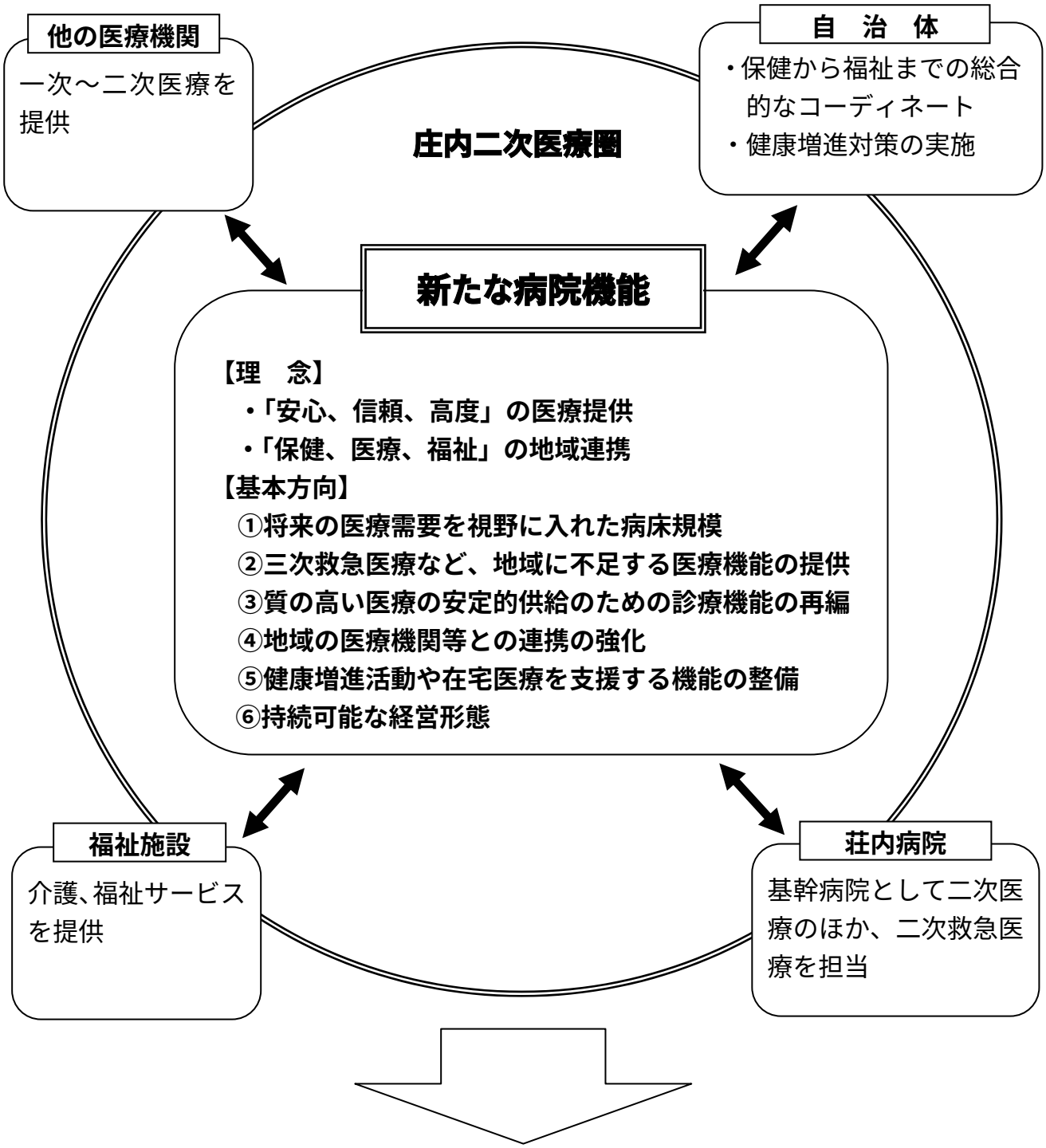
①診療機能が重複
②医師が分散配置
③地域の不足医療の補充
④自治体病院の経営課題
⑤老朽化した施設の改築

【地域全体としての課題】

①地域完結型の地勢
　→三次救急機能が庄内地域に必要
②がん死亡率の高さ
　→がん検診率が一部地域で低いことが原因

北庄内地域における医療機能（県立日本海病院、市立酒田病院）の統合再編の必要性

2　統合再編協議における理念と基本方向



山形県・酒田市病院統合再編協議会

○県立日本海病院と市立酒田病院の統合再編にかかる諸課題を協議

※ 構成者：山形県、酒田市

◇ 庄内地域医療懇話会において、両病院、医師会、山形大学、東北大学など、医療関係者により医療提供体制のあり方について意見を徴する